

「イソベっちの、前へ前へポッポー！」

2011年11月27日(日曜)

ゲスト:山本博史さん(株式会社小倉屋山本 代表取締役)

第29回の「のびのびさん」は、株式会社小倉屋山本、代表取締役、山本博史さんです。

Q. お店が山崎豊子さんの処女作「暖簾」(暖簾分けをされた昆布屋を守るために、戦時中の激動の時代を生き抜く、大阪商人魂を書いた作品)の舞台になったそうですが…

山崎豊子は私の叔母にあたります。主人公が銀行にお金を借りに行った時に、担保のかわりに暖簾をさし出し、「暖簾は商人の命だす」という気迫に押された支店長が融資を承諾するというシーンが印象的です。

Q. 昆布は時代とともにどう変わってきましたか？

昆布屋を始めて161年、しっかりした昆布がうちの味付けなんですけど、時代とともに薄味・甘口という昆布も好まれるようになりました。昔ながらの伝統の味を守ること、今の嗜好に合わせていくこと、このバランスをとるのが難しいと思っています。

Q. 色々と大阪を盛り上げるための活動もされているそうですが…

大阪商工会議所の流通活性化委員長を務めておまして、旅游都市化推進プロジェクト、つまり外国人観光客の中でも特に中国のお客様にもっと大阪に来てもらって、もっとモノを買ってもらおうという取り組みをしています。プロジェクトを推進するために、「中国観光客接遇セミナー」を開催し、中国はどんな国でどんな文化なのかを簡単にまとめたガイドブックや、指さしシートなどを無料で配布しています。メイドインジャパンに対する信頼はとても高く、今は化粧品、衣料品、文房具、アニメグッズなどがとても評判がいいそうです。

Q. 山本さんにとって、大阪の魅力とは何ですか？

やっぱり「民の力」だと思います。もともとお上に頼らないのが大阪の伝統。いま大阪は元気がないので、もう一回気概を持ってやっていきたいと思っています。

Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「至誠忍耐」です。

この言葉を大事にしたいと思っています。

ありがとうございました。